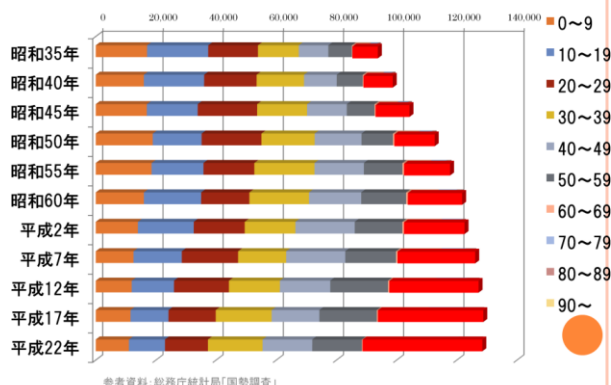


【高知県の福祉未来予想図】（生活福祉系列）

まずは日本の人口推移を見てみよう！  
過去～現在～未来



まずは、日本の現状や未来を見ていきたいと思います。この表は、10歳ごとに区切り、色別で表しています。

現在、日本の人口は約1億2745万人です。

60歳以上の人口を見ますと、全体の人口に占める割合が多くなってきているのが分かります。

現在、高齢者を支える比率は3人で1人を支えるかたちですが、45

年後の2055年には高齢化率は約40%となり、1.2人で1人を支えなければならないこととなります。

続いて、高知県の人口推移を見てみます。昭和45年の高知県の総人口は約78万7000人ですが、昭和60年にはピークを迎え、以降、人口は減少しています。また、人口推移と同じく高齢者の割合が増加していることが分かります。

では、室戸市を見ていきましょう。グラフからも分かるように大きく人口の減少が見られます。

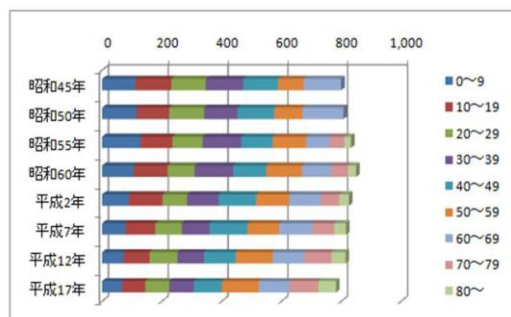
統計情報研究開発センターが推計した市区町村別の推計人口によると、2035年には全国の783の市のうち、高齢人口比率が高い都市の上位に室戸市が入ります。高齢人口比率が高い都市は過疎進行型といい、若・中年層の流出等で人口全体が減少した結果です。

室戸市の高齢化率は2035年までに50%を超え、1人で1人を支えることが予測されます。

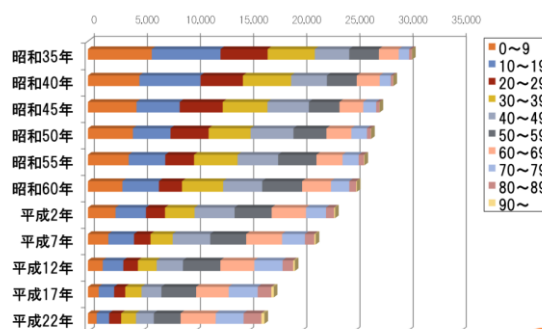
そこで、介護の現状を理解していただくために、介護従事者に対してとった「労働条件等の悩み、不安、不満等について」のアンケート結果を見ていただきたいと思います。

1位、仕事内容のわりに賃金が低い。2位、人手が足りない。3位、有給休暇がとりにくいという結果でした。

つづいて高知県の人口推移を見てみよう！



室戸市の人口は！？

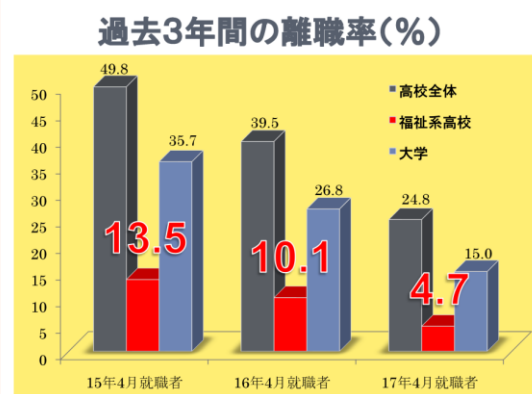


介護福祉士登録者数を調べてみると（平成22年2月現在）、日本では介護福祉士登録者81万2152人、高知県では7498人、室戸市、推定88人です。

将来的に高知県で必要な介護福祉士の人数を算出すると、2025年には1万445人、2035年には1万2003人が必要になります。

平成22年3月現在では、県全体で要支援・要介護者は、4万729名います。つまり、介護福祉士1人当たりが、介護を必要としている5人を看ている状態です。室戸市では介護福祉士1人当たりが介護を要している13人を看ている状態になります。このままでは、過疎が進んでいる地域では、介護福祉士に多くの負担がかかることとなります。県全体でこの課題を解決していかなければいけないと思います。

介護従事者の離職率は、全労働者の離職率より、平均3%前後高いという報告があります。一方、福祉系高校を卒業して福祉分野へ就職をした高校生は、他の進路をたどって就職した者に比べ、格段に離職率が低いことがグラフから分かります。さらに、このグラフには表していませんが、福祉系高校を卒業後、福祉系大学に進学した者が福祉分野へ就職した場合は、さらに離職率が低いことが確認されています。



福祉分野の仕事を選んだ理由を現在働いている介護従事者に対してとったアンケートによると、1位、働きがいのある仕事だと思った。2位、人や社会の役に立ちたい。3位、資格・技能が生かせる、となっています。

そこで、平成21年度高知県公立高校卒業生就職状況をみると、県内外の就職者数が1053名。県内就職者数は589名で、そのうち42名が福祉施設に就職しています。就職者数の7.1%の者が福祉施設に就職していることとなります。

私たちは、高知県下の高校生に、福祉を学べる、より多くの機会を作ることが必要ではないかと思います。そこで、解決策として、3つ提案します。

一つ目は、福祉に関することを専門的に学ぶために、高知女子大学との高大連携を提案します。その構想として、福祉の科目を勉強する者に対しては、入学金・授業料の半額免除・全額免除。高校生は、大学で講義を受けることにより単位が認められるシステムを導入。大学生は、高校生と共に活動を行うことで単位が修得できるシステムを活用。このような制度により、高校生・大学生がともに単位が認められ、資格を取得できるようにすればいいのではないのでしょうか。

二つ目は、これから、1人が1人を支える時代がきます。誰もが支える側、支えられる側になるので、福祉の問題を自分のこととして考えなければなりません。だから、教養として、福祉に関する科目を必修とする高校を設置してはどうでしょうか。

三つ目には、福祉現場で資格を持って即戦力となる専門的知識・技術がある人材を育てるために、専門科、つまり県内初の福祉科高校を設置してはどうでしょうか。

これからの福祉における様々な問題に立ち向かうためには、大学、高校、高知県が協力しなければならないと思います。大学、高校については、互いに単位修得ができ、質の高い学習が出来ると思います。高知県は、人材確保ができ、学生は求人確保ができます。高知県は生徒に投資することで、高校生は地域に還元できます。これらにより、質の高い専門職を育てることと、道徳観・倫理観がある人間を育てることができると思います。